

2021年度

学校関係者評価委員会報告

1. 開催日時： 2022年 2月16日（木）
2. 開催場所： 三草会札幌看護専門学校 会議室

※本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面をもって報告することとした。

3. 委員： 学校法人 西野学園 理事長
社会医療法人 恵佑会札幌病院 副院長兼統括看護部長
札幌市東区親和第一町内会 会長
株式会社 北央情報サービス 監査役
北石狩公平委員会 委員長

学 校： 校長
副校長
事務長（文責）

4. 報告内容： 自己点検・自己評価内容についてご意見及び今後の課題、改善策等のご助言を頂き、学校運営に反映させる。
今年度も新型コロナウイルスの影響により、対面授業からリモート授業へ切替え、学習支援が必要な学生には個別指導を強化した。
実習についても2020年程ではないが感染状況により一部臨地実習が行えず、学内実習に切替えた。受入れいただいた臨地実習は期間短縮や、グループ人数縮小など臨機応変に対応し感染対策を実施した。
感染状況は減少傾向にあるが、引き続き感染防止対策と学習を両立させられるよう環境を整えていく。

項目	平均評価		今後の課題・改善
	2020年	2021年	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念 ・教育目的 ・教育目標 	3.86	4.00	<p>本校の教育理念の核である「人間の尊厳」「人間愛」の精神が根付いて卒業を迎えることができたのか、卒業時における学生の教育目的・目標の達成状況が指標となる。改正カリキュラムがスタートし教育の結果をどのように評価するか、カリキュラム評価に具体的な方法を示し計画立案していく必要がある。</p> <p>教育理念・教育目的・目標は学生にとって学修の指針となることから、評価にあたっては、卒業時における学生の達成状況が指針となる。本校のカリキュラム評価と開発の考え方を示し計画立案し取り組む。教育の結果をどのように評価するかについての考え方、具体的な方法を示し、効率的、効果的な評価計画を作成していく。実施にあたっては評価委員を立ち上げ組織的に運行していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程経営 	3.75	3.80	<p>教育課程評価は組織的に体系作りを行い運行していく。</p> <p>教員の授業準備の時間確保に関しては、本来の授業や実習指導以外に教務事務も多く抱えており、教員間の業務調整、教務事務との業務整理を継続的に行う。</p> <p>実習指導教員を臨地実習での指導に限らず学内実習・演習の企画にいい、専任教員と共同させ教育にあたらせることで専任教員の時間確保にむける実習施設への指導体制の協力依頼は継続して行く。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教授 ・学習（講義・演習・実習） ・評価課程 	3.77	3.74	<p>3年間の教授・学習・評価課程を下記内容で評価を行い課題の抽出・改善策を明確にしてカリキュラムに反映していく。</p> <p>「教員は、評価計画を立案、実施し評価結果に基づいて、実際に授業を改善しているか」では「あまりそうは思わない」の評価があり3.3とポイントが低い値となっている。実際は授業評価を行いリフレクションして次の授業案に活かしているが、個々の教員に任せている事も多くある事から、リフレクションとその後の計画の支援も必要であると考え指導にあたる。次に評価項目「シラバスの提示や学習への指導は、主体的な学習への動機づけと支援になっているか」では「あまりそうは思わない」の評価があり3.7ポイントであった。動機付けや支援になるためのシラバスでもあると考えるので、シラバスの意義や活用について教員への共通認識の機会をつくり学生へ還元していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・経営 ・管理課程 	3.71	3.78	<p>カリキュラム評価の準備・企画・運行を計画的に進める。</p> <p>広報活動及び入学試験に関する検討。</p> <p>学生生活の支援と教材教具の点検と補充。</p> <p>年度予算の継続説明。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・入学 ・入学 ・就職 ・進学 	3.61	3.83	<p>卒業時の到達状況及び就職進学状況を分析していく。</p> <p>入学者の選抜の考え方と教育理念・教育目的との一貫性、選抜の公平性、選抜方法の妥当性、受験者増への取組みを工夫する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会 ・国際交流 	2.84	3.20	<p>完成年度を迎え3年間の入学・卒業・就職・進学を下記内容で評価を行い課題の抽出・改善策を明確にしていく。又学生を地域活動に参加させることで、将来看護学生になる自分たちが社会のニーズに応える意識の高揚を図りたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研究 	2.69	3.37	<p>個人の研究活動までは至っていないが、自己研鑽のための研修・研究活動費は設けられており、各専任教員の学会参加は継続。</p> <p>校内研修委員係を組織に位置付け授業研究、模擬授業、授業評価、事例検討会、学会報告会の年間計画を立案し教員全員が実施し継続している。</p>